施工計画書作成・点検のポイント

**※この施工計画書作成・点検のポイントは、土木工事を対象とした視点となっていますが、すべての工事についても共通するものですので、工事に応じて読み替えをお願いします。**

|  |
| --- |
| ◎施工計画書の重要性工事の管理は、最終的な出来形や出来映えだけが重要ではありません。施工中のプロセス（施工計画・施工管理・安全対策・法令遵守等）が重要です。そのため、詳細な施工計画書の作成、その後の適宜の見直しが重要になります。 |

□施工計画書の主なチェックポイント１

施工計画書は次の内容を記載することとされ、監督職員が別途補足を求めた場合は追記することとされています。（海老名市土木工事共通仕様書総則）

施工計画書の内容

（１）工事概要

（２）計画工程表

（３）現場組織表

（４）安全管理

（５）指定機械

（６）主要資材

（７）施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）

（８）施工管理計画

（９）緊急時の体制及び対応

（10）交通管理

（11）環境対策

（12）現場作業環境の整備

（13）再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法

（14）施工要領・工種別施工計画書等

（15）その他

**※施工計画書の作成、説明義務は現場代理人ではなく主任技術者です。**

**※維持工事等簡易な工事においては監督員の承諾を得て記載内容の一部を省略出来ます。**

□施工計画書の主なチェックポイント２

（３）現場組織表

・現場における組織の編成及び現場代理人、主任技術者等の業務分担がわかるように記載されているか。

※現場代理人の職務及び権限

請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場に常駐し、その運営、取締を行う。

除外該当権限を除く受注者の一切の権限を行使する。

※主任技術者の職務及び権限（建設業法第26条の３関係）

工事現場における建設工事の施工の技術上の管理をつかさどる者として、施工計画の作成、具体的な工事の工程管理、工事目的物・工事仮設物・工事用資材等の品質管理、施工に従事する者の技術上の指導監督を行う。

□施工計画書の主なチェックポイント３

（４）安全管理

・土木工事安全施工指針、建設機械施工安全技術指針などを参考に現場の災害防止に努めることが記載されているか。

・建設工事公衆災害防止対策要綱の遵守

・豪雨等の天災に対し、防災体制が確立されているか。

・安全訓練、安全巡視、TBM、KY、安全パトロール等の実施計画があるか。

**※作業の安全を確保するためには、工事関係者はもとより直接作業を行う作業員が安全に対する理解を深めることが重要です。このため、定期的に訓練等を実施し、訓練等の内容は各種工事の共通仕様書を参考にして下さい。**

□施工計画書の主なチェックポイント４

（５）指定機械

・排出ガス対策型・騒音対策型が使用され、その旨明示してあるか。

・吊り作業の機種が製品等の重量を考慮して設定されているか。

・バックホウの用途外使用がないか。

（木杭打ちは大型ブレーカーにアタッチメントを付ける）

（バックホウの吊り荷重は最大１ｔ　平積バケット容量×1.8ｔ未満）

**※カタログ及び車検証等の写しの添付は必要ありません。ただし、監督員等が提示を求めた場合は提示して下さい。**

□施工計画書の主なチェックポイント５

（６）主要資材

・設計図書と使用資材の不一致がないか。

（設計図書はRC-40、使用資材はC-40というような不整合はないか等）

※新材の利用は、特段の理由がある場合のみ。

・コンクリートの配合は適切か。

・品質証明方法についての記載があるか。

・工期の延長を行った場合は、主要資材の利用時期が変動する可能性が高いため再確認することが重要（変更契約時）。

　・原則として、主要資材に記載した資材について納入仕様書及び材料検収簿を作成する。

□施工計画書の主なチェックポイント６

（７）施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）

・仮設計画（指定仮設等に関するもの）や施工方法が具体的に記載（工種毎の作業フロー等）されており、監督員として施工のイメージができるか。

・制約条件（施工時期・時間、交通規制等）について記述されているか。

・契約書第18条の照査が実施されるか。

・生コンの配合と打設計画、養生期間・方法が記載されているか。

（養生期間：高炉７日以上、普通５日以上、早強３日以上）

□施工計画書の主なチェックポイント７

（８）施工管理計画

・出来形管理基準、品質管理基準、写真管理基準が全て明示されているか。

（海老名市施工管理基準書等に合致しているか）

・管理基準にない薄層舗装（カラー舗装等）の出来形管理の漏れがないか。

・品質管理計画表が作成されているか。また、管理方法等は妥当か。

・写真管理の徹底（撮影位置・方法、電子媒体での納品）

監督員による検査及び立会い（段階確認等）

・海老名市土木工事共通仕様書に規定されている必須事項の記載があるか。

・特記仕様書に規定している検査、確認事項が反映されているか。

・検査及び立会いは、検査時に確認できない不可視部分等を反映する。

・社内検査を行う場合は、検査項目、検査方法、実施時期等について記述しているか。

□施工計画書の主なチェックポイント８

（９）緊急時の体制及び対応

・異常気象時等で、災害の恐れがある場合には、工事を中止し、現場整理を行う等記述されているか。

・緊急時（災害等の発生時）の連絡体制が確立されているか。

・豪雨時等の点検範囲や確認体制が確立されているか。

　・パトロール等を行う場合の要件（警報、注意報の発令時等）が記述されているか。

□施工計画書の主なチェックポイント９

（10）交通管理

・安全（保安）施設、安全標識並びに交通誘導員等の配置計画は適切か。

・夜間の保安対策を講じているか。（現地状況が反映されているか。）

・安全運転、過積載防止の取組みがなされているか。

・資材や機械などの運搬ルートや輸送方法、標識類の配置計画が適切か。

□施工計画書の主なチェックポイント10

（11）環境対策

・振動、騒音、汚濁防止等の配慮がなされているか。

・地元住民との調整が図れているか。（生活環境の保全等）

・排出ガス対策が図られているか。（アイドリングストップ等）

　・事業損失防止対策（家屋調査等）が記述されているか。

□施工計画書の主なチェックポイント11

（12）現場作業環境の整備

・仮設、安全関係（トイレ、休憩所の設置等）

・空き缶等のゴミの処理が適切か。

・休憩場所の確保がなされているか。

・喫煙場所が指定されているか。

　・熱中症の重篤化を防止するための体制整備、手順作成、関係者への周知が記述されているか。

□施工計画書の主なチェックポイント12

（13）再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法

・再生資源を利用することとしているか。

・処理施設が再資源化施設となっているか。

・廃棄物処理法や建設リサイクル法等の法令遵守がなされているか。

・再生資源利用（促進）計画書が作成され、内容が適切か。また、発生土量が500m3以上の場合発生土搬出の適法性を確認した建設発生土確認結果票が添付されているか。

計画書を５年間保存することについて記載されているか。

・搬出物をマニュフェスト等で適正に管理する計画としているか。

マニュフェストを５年間保存することについて記載されているか。

・工期の延長を行った場合は、廃棄物の搬出時期が変動する可能性が高いため、委託契約を再確認することが重要。

□施工計画書の主なチェックポイント13

(14)施工要領・工種別施工計画書等

・施工要領・工種別施工計画書等により示す工種・内容について不足なく記載されているか。

□施工計画書の主なチェックポイント14

（15）その他

・工事に関するその他内容の記述及び資料を添付する。

・創意工夫・社会性等に関する実施計画は、施工計画書に記載があることが評価の要件。

　　提案内容の記述及び資料が添付されているか。

　・労働安全衛生法関連の作業計画書について、作業内容の記述及び必要資料の添付がされているか。